

糖尿病専門医、内分泌・代謝科専門医、老年病専門医プログラム



プログラム責任者

代謝・内分泌内科学講座
脇 裕典 教授

専門研修
 担当者
 連絡先

加藤 俊祐 医員
 TEL.018-884-6769 FAX.018-884-6449
 E-mail katoshun@gipc.akita-u.ac.jp
 HP <https://www.med.akita-u.ac.jp/~rounen/>

プログラムの特徴

当科では、糖尿病専門医、内分泌・代謝科専門医、老年病専門医を取得するための3つのプログラムがあります。全人的医療を臨床の場において展開できる優れた専門医を養成することをそれぞれのプログラムの基本理念としています。

糖尿病専門医プログラムにおいては、発症早期で食事・運動療法など生活習慣への介入が主である糖尿病症例、合併症が進行し他科との密接な連携が必要な糖尿病症例、1型糖尿病、妊娠糖尿病など、多種多様な症例を秋田大学糖尿病・内分泌内科ならびにその教育関連施設で研修することが可能です。さらに、関連病院との協力した多施設共同の臨床研究や、肥満や糖尿病とその合併症の発症進展機構の解明を目指した基礎研究を行っています。臨床研究や基礎研究の推進で新しい知見にもとづいた医療を構築することを目指しています。

内分泌・代謝科専門医プログラムにおいては、下垂体疾患、副腎疾患、甲状腺疾患、膵内分泌腫瘍など、多種多様な診断に集学的な検査が必要な内分泌症例を、秋田大学糖尿病・内分泌内科にて経験し、研修することが可能です。さらに我々は、内分泌ホルモンの新しい可能性を探る基礎研究を行っています。こういった研究の推進で新しい知見にもとづいた医療を構築することを目指しています。

老年病専門医プログラムにおいては、高い専門性をもった老年病学に基づく医療を提供し、高齢者の医療・介護・福祉にかかわる職種のリーダーとして活動できる老年病専門医を養成することをプログラムの基本理念としています。



超高齢社会の日本において、加齢に伴う、身体的、精神的な症状、疾患—いわゆる老年症候群に対して、総合的に、秋田大学糖尿病・内分泌内科・老年内科で研修することが可能です。CGA(高齢者総合機能評価)をもとにADL・認知機能・社会的背景などを評価し、問題点を抽出することで、適切な介入を行っています。また、近年フレイルという概念が徐々に広まりつつありますが、当科では、フレイルの核となるサルコペニアの評価を積極的に取り入れ、より適切に介入することを心がけています。

本人や、家族の価値観、人生観に配慮して診療を行うことができ、またチーム医療のリーダーとして活躍できる医療者を育成することを目指しています。

プログラムの説明

当科では、糖尿病専門医、内分泌・代謝科専門医、老年病専門医の3つの専門医を取得することが可能です。専門医の資格を取得するためには、学会の認定施設において一定期間の研修を行うことが必須です。糖尿病専門医プログラムにおきましては、秋田大学医学部附属病院ならびに教育関連施設を研修することで、可及的速やかに専門医の取得を目指しています。実際、ほとんどの後期研修医が最短での専門医の取得を達成しています。また、教育関連施設は現在、秋田市内に3か所あり、今後教育関連施設の拡充を目指しています。一方、内分泌・代謝科専門医、老年病専門医に関しましては、秋田大学医学部附属病院で3年間の研修が必要になります。こうしたことから、いままでの当科の状況を振り返りますと、まずは、糖尿病専門医を取得して、その後内分泌・代謝科専門医、老年病専門医を取得される方が多いのが現状です。

■取得までのキャリアパス

医学部卒業後年数	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
Aコース (専門医及び学位取得) 大学院3年目入学	初期研修	—	内科専門研修カリキュラム:大学/関連病院	大学院(社会人大学院含む)		学位取得	
				— サブスペシャリティ専門研修 —	内科専門医取得	糖尿病専門医/内分泌・代謝専門医/甲状腺専門医/老年病専門医取得	
Bコース (専門医取得優先)	初期研修	—	内科専門研修カリキュラム:大学/関連病院	—		内科専門医取得	
				— サブスペシャリティ専門研修 —	糖尿病専門医/内分泌・代謝専門医/甲状腺専門医/老年病専門医取得		